

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和５年度 第１回 岩倉市水道料金等審議会
開催日時	令和５年７月２４日（金） 午後１時１５分から午後３時５５分まで
開催場所	市役所 ７階 第１委員会室
出席者 （欠席委員・説明者）	出席委員：千頭委員、浅井委員、森山委員、大矢委員、菅沼委員、 服部委員、中洲委員 欠席：なし 説明者：建設部長、上下水道課長、上水道グループ長、下水道グルー プ長、下水道グループ統括主査、上水道グループ主任
会議の議題	(１) 岩倉市水道料金等審議会について (２) スケジュール及び今後の進め方について (３) 会計の仕組み (４) 水道事業の概要と現状 (５) 公共下水道事業の概要と現状
議事録の作成方法	☒ 要点筆記 ☐ 全文記録 ☐ その他
記載内容の確認方法	☐ 会議の委員長の確認を得ている ☐ 出席した委員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
会議に提出された 資料の名称	資料１ ： 岩倉市水道料金等審議会委員名簿 資料２ ： 岩倉市水道料金等審議会について 資料３ ： 岩倉市水道料金等審議会スケジュール（予定） 資料４ ： 会計の仕組み 資料５ ： 水道事業の概要と現状 資料５－１： 岩倉市水道事業経営戦略 資料６ ： 公共下水道事業の概要と現状 資料６－１： 岩倉市公共下水道事業経営戦略
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍聴者数	０人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）
1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 会長及び副会長の選出 委員の互選により、千頭委員が会長に、浅井委員が副会長に就任した。 6 諮問について 7 議題 （１）岩倉市水道料金等審議会について 事務局：資料２について説明 会 長：会議は公開か。 事務局：公開とする。 （２）スケジュール及び今後の進め方について 事務局：資料３について説明 会 長：水道料金と下水道使用料の両方を同時に検討していくのか。 事務局：両方同時に検討していく。 委 員：委嘱期間は令和７年７月２３日までだが、最終第５回の令和６年８月以降も予定があるのか。 事務局：第５回で答申案を頂く予定だが、意見がまとまらなければ、６回、７回と検討をしていく場合も考えられるため、任期を２年としている。答申後についても本審議会を継続し、常設の審議会としたいと考えている。 会 長：我々は市長に対し答申するが、料金改定を提案するのは市であって、最終決定は議会である。我々が料金を決定するわけではないことをここで確認しておく。 委 員：令和６年８月に最終答申案となっているが、これくらいの時期にまとめたいという考えか。 事務局：市民生活に大きくかわることであるため、できるだけ市民周知の期間は長くとりたいと考えているため、このようなスケジュール案とさせていただいた。 （３）会計の仕組み 事務局：資料４について説明 会 長：資料は何かを参考にして作成したのか。 事務局：江南市が最近水道料金の改定をしており、その資料を参考にしている。 委 員：（３ページ）資本的支出の元金償還金とは何か。 事務局：建設改良事業の実施に伴い借金をしているため、その返済金である。 委 員：借金とは資料のどこを指しているか。

事務局：図の「企業債発行」のこと。

（４）水道事業の概要と現状

事務局：資料５及び資料５－１について説明

委 員：自己水が多いと水道料金が安くなるのか。

事務局：施設の老朽化による更新費用を考慮すると、一概に安くなるとは言えない。

委 員：地下水は配水場に送られるのか。

事務局：地下水は、資料５の６・７ページに示している緑色の自己水の供給エリアに配水している。

委 員：地下水の消毒や水質はどのように管理しているのか。

事務局：地下水を汲み上げた後に、ろ過機や薬品で調整している。

委 員：江南市が令和２年度に料金改定をしたようだが、資料５の１３ページにある料金ランキングを見ると江南市は下位にいるのはどういうことか。

事務局：表では上に行くほど料金が安く、下に行くほど高くなっている。江南市は令和２年度に料金改定をしたことにより平均より下位に位置している。

委 員：江南市の改定前の料金はいくらか。

事務局：10m³ 使用時は、900 円から 1,250 円に、20m³ 使用時は、1,950 円から 2,250 円に、30m³ 使用時は、3,250 円から 3,850 円に改定された。

委 員：水質は井戸水の方がいいのか。

事務局：地域によって異なる。黒い粒状のマンガンが多い地域もある。廃止した稲荷町水源では、マンガン除去設備を含む施設の更新等の費用と県水に切替えた場合の料金を比較した結果を見て、廃止としている。

委 員：水源ごとに成分の違いはあるのか。

事務局：地域によって水脈が違うため、成分・水質にばらつきがある。県水は第２水源の自己水と混ぜて配水している。オリジナル水「いわくらしや水」は第３水源の水で製造した。

委 員：３割も自己水で供給しているのは素晴らしいことだと思う。

事務局：自己水源は確保すべきだという議論があるが、電気が止まればポンプが作動せず、水を汲み上げることができなくなる。

会 長：計画一日最大給水量の増は計画給水人口が増えたことによるものか。平成２２年に計画一日最大給水量を大幅に減らしていることから、平成５年の第２期拡張事業の時にかなり多めに見積もったというように読み取れる。計画一日最大給水量が急激に増えたことによって、県水の負担金は増えたのか。また給水量と世帯数の比較はしているか。

事務局：次回までに調べておく。

委 員：近隣市町で料金改定を検討しているところはあるか。

事務局：江南市は改定済み。料金改定を検討している自治体については、次回までに調査しておく。

会 長：口径別給水量・給水戸数のデータを次回用意しておいてほしい。

事務局：用意する。岩倉市の料金体系は、口径別ではなく用途別。口径別料金体系は口径が大きくなるほど大量に水を使うことから口径が大きいほど料金が高くなるように設定している自治体が多い。

会 長：資料５の１１ページでは岩倉市のメーター使用料は口径別になっているが。

事務局：メーター使用料は口径別としている。メーター使用料を徴収していない自治体が多い。

会 長：家庭用に大口径のメーターを設置したいと申し出があれば、設置は可能なのか。

事務局：本管の口径次第ではあるが、可能であると思われる。

会 長：改定するにあたり、場合によっては用途別ではなく、口径別の料金体系になるということか。

事務局：それも含めて皆さんで議論をお願いしたい。

（５）公共下水道事業の概要と現状

事務局：資料６及び資料６－１について説明

会 長：市民に説明するにあたって、わかりやすく資料を作ってほしい。

事務局：改定の必要性の論拠等、ポイントを押さえた資料を作成する。

委 員：受益者負担金については他市の状況のわかるデータはあるか。

事務局：受益者負担金は工事費の一部を負担するものであり、工事費の原資を何で行っているかという資本的収支に関するもの。この審議会で議論する使用料で費用が賄えているかという収益的収支に関するものではないため、今回の資料には受益者負担金に関するデータは記載していない。

委 員：市民への説明に必ず必要になる。「今でも負担金を払っているのにそれでも値上げするのか」と言われる。市民目線から見た時のお金を何に充てているのかという資料は必要。

事務局：次回までに資料を揃える。

会 長：現在の受益者負担金はいくらか。

事務局：敷地面積１㎡ごとに４５０円。

委 員：資料６の４ページにある人口普及率とは、市内全域の人口に対する、接続済みかどうかは別として整備が終わり接続可能になっている人口の割合でいいか。

事務局：そのとおり。

委 員：接続率のデータはこの資料にないのか。

事務局：ここにはない。

委 員：接続率のデータは必要だと思う。

事務局：接続可能な戸数に対する接続済戸数を表す接続率のデータは示していないが、接続可能な人口に対する接続済人口を表す水洗化率というデータは公表しており、大体9割弱の方が接続されている。

委員：上水も下水もだが、今回の説明であった問題を解決するための料金シミュレーションをもとに議論した方が話をしやすい。まずたたき台の資料が欲しい。

会長：次回以降でそういった話をすると思われる。いくつかのケースについてシミュレーションしてほしい。

事務局：次回資料を用意しておく。

委員：下水管を布設するにしても岩倉市は小さいので下水管延長も他の自治体に比べると短く、布設費用も安くなるといったことは言えるのか。

事務局：岩倉市のほとんどは人口密集地域なので面積当たりの整備費用自体は比較的安く済む。しかし整備費用ではなく今後の維持費が足りていない。汚水の処理費さえ賄えていないという状況を何とかしなければいけないという段階。

委員：例えば犬山市等、他市では下水管を何百 km も整備する必要があるが岩倉市では何十 km で済むというようなことは言えるのか。

事務局：犬山市から処理場まではもともと県が整備した幹線が市町を縦断して入っており、市が行う面整備はそこに下水管をつなげるので全部整備するわけではない。岩倉市とそんなに変わらない状況。

委員：水道料金は明細を見ておらず、ただ銀行から引き落としされている感覚だったが、今後は使用者の視点から料金体系について考えていきたい。

会長：自分の家の水道料金がいくらか知っている方はほとんどいない。実際にどれぐらいの水量を使用しているか見てもらえたらと思う。

委員：下水道使用料は高いような気がする。

事務局：水道料金と値段の比較をすると下水道使用料は安い。上水しか使っていなかった方は、下水に繋がると新たに負担が発生して料金が1.8倍くらいになるため、下水は高いというイメージがつくものと考えられる。実際は、浄化槽とコスト比較した場合、年間で数千円程度は安くなるという結果だった。下水に繋いだ方が安くなるし、家を建てる時にも浄化槽分が安くなる。そういった点をPRし、下水に繋ぐことは損ではないということを皆さんに認識いただけるよう頑張っている。

会長：浄化槽の撤去、処分、配管の繋ぎなおしといった費用が結構馬鹿にならない。何十万とする。撤去せずに雨水の貯留槽に転用するところもある。

事務局：岩倉も雨水貯留槽に切り替える場合、一部補助を出したりしているが、埋め殺しの方が多い。

委員：今、「原材料が高いがそれを価格転嫁できない」という企業がたくさんある。そういう企業に対し、行政が「こういうような努力をして経費を削減している」ということを訴えられるような資料があるといい。

事務局：資料を用意しておく。

8 その他

第2回：令和5年11月7日（火）午前9時から

第3回：令和6年1月30日（火）午後2時から

上記日程で開催決定。開催案内は1か月前に送付する予定。

10月に予定している施設見学は希望者のみで実施する。上水と下水の施設を合わせて2時間の予定。

9 閉会